

共に支え合い、生きていこう

DecoBoco

創刊号

2020/04



はじめまして
デコボコ会です。

創刊号では、みふねデコボコ会のはじまりや今までの歩み、
そして理念をご紹介します。

小さな支援施設ですが、地域の方々に支えていただき今年で43年目を迎えます。
少しでもデコボコ会のこと、仲間たちのことを知っていただければ幸いです。

共に支えあい 生きていこう

これが私たちの理念です。

障がいを持つ人たちは周囲から支えられている存在だ。

そう考えている人々もなかにはいます。

しかし私たちは、決してそうは思いません。なぜなら、実際わたしたちがみふねデコボコ会に通う青年達に日々支えられていることを実感しているからです。

悲しいときは側に寄り添い、元気のない人には声をかけ心配してくれ、嬉しいときには共に喜んでくれます。

人は得意不得意があります。みふねデコボコ会に通う仲間は利用者、スタッフ関係なく互いに支えあって日々の活動に力を入れています。



会のはじまり

夕暮れのバス停。

創立者のこもりさんは、バス停で等間隔に立つ女性たちに気が付きました。談笑しあうこともなく、なぜか周囲から隠れるようにバス停に立つ女性たち。

しばらくすると、養護学校のスクールバスが停まり子供たちが次々と降りてきました。子供たちはバス停で待っていた女性と手をつなぎ家路についたと言います。

こもりさんは、障がい児とその家族が孤立して生きていることにショックを受け、誰もが生きやすく共に支えあう社会にしなければいけないと強く思いました。

その後、1977年にみふねデコボコ会は誕生、現在に至ります。

現在のデコボコ会

現在、デコボコ会は「地域活動支援センター」として活動。

毎日の給食作り、掃除など自立生活に向けたトレーニングはもちろんお気に入りの風景や出来事を様々な形で表現するアート活動や（今年は展示会も開きました！）

パンの製造販売や入浴剤の袋詰めチラシの封入作業など、様々なお仕事をしています。

また、月に一度はマナー習得や社会見学、仲間との楽しいひと時を過ごすために様々な場所に出かけ共に楽しい時間を過ごしています。活動内容の詳細は、また次号でもご紹介いたします！

現代表の
くりはらです。

創立者の
こもりです。

1977年頃



今年の節分豆まき大会での一コマ

デコボコ 日和

デコボコに集う仲間たちとの日々をつづる「デコボコ日和」
毎日のちょっとした出来事をご紹介しつつ、
個性豊かな仲間たちのこともご紹介するコーナーです。



2020/03/21

「散歩いきたい」が口癖のマコさん
その日は、お天気がとても良かった
ので午後の掃除が終わったタイミン
グでお散歩にでかけました。

木漏れ日の中、時折立ち止まって空
を見上げたり風にそよぐ木々をじっ
と観察したり・・・

ゆっくりとしたとても贅沢な時間を
共に過ごしました。

帰り道は、「よーいどん！」の掛け
声とともに両手をブンブン揺らしな
がら笑顔で走って帰りました。

ホームページ

<http://www.dekoboko-npo.com>

▼QRコード



facebook

「みふねデコボコ会」で検索

▼QRコード



NPO法人みふねデコボコ会 代表：栗原秀子
〒861-3203

熊本県上益城郡御船町高木4494-46

TEL・FAX (096) 282-4180

担当：酒向（サコウ）、上田（ウエダ）